

# エコタウンえどがわ推進本部 第9回本部会議 要旨

日時：平成24年9月12日（水）

午後2時30分 開会

場所：江戸川区役所（西棟4階）

第1委員会室

- 1 本部長挨拶（区長）
- 2 地球温暖化対策の動向（事務局）
- 3 江戸川区の二酸化炭素排出量（事務局）

## 4 報告事項

- (1) 「もったいない運動えどがわ」の推進状況（小林本部員）
- (2) 安全で快適な環境に向けて（事務局）

## 5 意見交換

### ○ 本部員の発言（要約）

#### 《エネルギー政策について》

- ・ 国の政策が原発を含めて不透明である。今後の地球温暖化対策への影響もあるが、雇用・産業などにも関連する大きな課題である。

#### 《教育・学校の取り組みについて》

- ・ 環境問題は、まず実態を子どもに示し、関心や興味を抱かせてから、学年に応じた情報や知識を与えてあげること、意欲や考えを持って自分ができることを認識させ、それに向けて行動できる力を育ててあげることが必要。また、学校で出来ていても家庭や地域に帰ってそれができないと学校教育として十分ではないと思っている。
- ・ 習ったことが家庭や地域で大人にも波及されるような教育が必要である。
- ・ 中学校では生徒会が中心となり、自分たちで考えて節電等について提案してくるようになる。昨年の夏の節電時には「半袖に短パンで学校に来てはいけませんか」という提案があり登下校時には認めるようにした。また、教室の照明の消し忘れなども全くない。
- ・ 子どもが学校から「もったいない運動」やエコ、節水の話などを聞いて帰ってくる。色々な機会をきっかけに子どもたちにエコや省エネを教えていきたい。
- ・ 生ごみリサイクルで集めた堆肥を使い、花壇で野菜作りをしている小学校がある。とても良い企画で、協力いただいている様々なボランティアの方とともに広めていきたい。

#### 《地域や各業界の取り組みについて》

- ・ 地域の美化運動で、家庭から出る廃油で作ったキャンドルを参加者や地域の皆さんにお配りし、照明などに役立ててもらっている。
- ・ 町会・自治会の皆さんで声をかけあってペットボトルのキャップを集めている。ワクチンを途上国などに送る活動に役立てており、非常に喜ばれている。この活動は学校を通して行われており、中学生が地域に取りに来てくれることもあるので地域と学校のコミュニケーション作りにも繋がっている。
- ・ P T Aの会合などでは、弁当をリユース容器で対応していこうと考えている。
- ・ 製造業が目指す生産性を上げることは、省コストになり電気量なども減ることになるので、会社の利益と同時に省エネにも直結する。今後も継続して取り組んでいこうと考えている。

#### 《古着・古布のリサイクルについて》

- ・ 去年から区が実施している古着・古布のリサイクルが地域でとても喜ばれている。もっと回収場所を増やしてもらえれば、さらに気軽に出せるようになる。